

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2
自然とのふれあいの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまね暮らし推進課長 新田 誠 電話番号 0852-22-6179

事務事業の名称	県立しまね海洋館の管理運営		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	日本海を中心とした水生生物の間近で見ることのできる場を創出し、質の高い自然学習の機会や、遊空間を広く県民等に提供する。	
事業概要	指定管理者である公益財団法人しまね海洋館により水生生物等の展示、調査研究、学習機会の整備、意識啓発などの管理運営		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県立しまね海洋館の入館者数	目標値		36.9	36.9	36.9	36.9	万人以上
	式・定義 実数(公益財団法人しまね海洋館からの報告値)	取組目標値						
		実績値	37.4	35.8	28.8			
		達成率	-	97.1	78.1	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	317,953	199,765
うち一般財源(千円)	300,848	199,765

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・入館者数は、本館シロイルカプール改修工事のため、シロイルカパフォーマンスを休止した影響等もあり、約288千人(対前年比80.6%、69,415人の減)となった。
 ・展示内容に変化をもたせるため、特別企画展示として「島根のってOK!!!～隠岐ユネスコ世界ジオパーク～」、「幸せをお届け!シロイルカ写真展」、「ヤド、カリーる?」を実施。単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源保護などの学習要素を多く取り入れた教育事業として取り組んだ。
 ・アクアスの魅力を高め、集客力の向上を図るため、ペンギン飼育体験やバックヤードツアー等の各種イベントを実施。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

○本館「シロイルカプール」や「いわみふれあいの磯」等の改修による魅力向上に併せ、館内表示の多言語対応等によりインバウンド対策を実施した。
 ○オウサマペンギン1羽の繁殖に成功した。
 ○スクール事業として、夏期・冬期にバックヤードツアーを開催。
 ・夏期：わんぱく体験隊
 参加者1,098名(対前年比182名増)
 ・冬期：みんなの知らないアクアツアー
 参加者786名(対前年比104名増)
 ○学習機会の提供として、各種教育活動の受け入れや出張講話等を行った。
 ・学校教育課程の受け入れ
 40件、1,653名
 ・保育園、子供会等の受け入れ
 47件、1,616名
 ・出張講話、観察指導
 70件、2,402名
 ・職場体験、実習等の受け入れ
 17件、17名

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・年間入館者数の減少
- ・外国人観光客の誘客
- ・飼育動物の健康管理
- ・飼育員の安全対策

②困っている状況が発生している「原因」

- ・他地域での新たな水族館の開館
- ・他地域での大型イベントの開催
- ・魅力の低下(他の水族館との差別化、パフォーマンス等の恒常化)
- ・国内外の観光客への認知度不足
- ・医療機器の老朽化により飼育動物の健康診断が迅速に行えていない
- ・飼育員が日常安全に飼育管理をするための機器類が老朽化し、安全確保に支障をきたしている

③原因を解消するための「課題」

- ・魅力あるイベント等の企画・実施
- ・効果的なPR活動の実施
- ・新しいパフォーマンス等の実施
- ・観光客のニーズや嗜好の把握
- ・計画的な施設・設備・備品の修繕、更新
- ・医療機器等の更新

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・中国5県から瀬戸内海沿岸へのPR活動の展開、近畿エリアでの誘致活動の実施
- ・インバウンド対策として、関係団体と連携し、ウェブサイトやSNSでの情報発信の強化により外国人観光客の取り込みを図る
- ・アシカ・アザラシプールでパフォーマンスを観るだけでなく、アシカ・アザラシに触るといった五感を刺激する展示を行い、魅力向上を図る
- ・各種イベントを開催し、観るだけでなく体験をしてもらうことで、新たな魅力を感じてもらい、リピーターの確保を図る
- ・ペンギン、アシカ等飼育動物の繁殖に取り組む
- ・施設の長寿命化計画に沿った計画的な施設の修繕・改修
- ・備品や医療機器の計画的更新
- ・長期的な集客対策として、新たな施設整備等も視野に入れて展示内容等を検討する